

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー
2025年度事業計画

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミーは、2025年度の事業計画を次の通り定める。

I 事業計画基本方針

本法人の使命を果たすために、2025年度において以下の基本方針を掲げ、新たな活動や事業方策を検討し安定した財団運営を推進する。

1. 財団事業の展開

- 1) 定款に定められた当財団の目的に添って、キリスト教精神に基づき、立場の相違を越えた「はなしあい（対話）」を通し、自由、平等、正義、平和に基づく社会の実現に寄与する事業を一層活発に展開する。
- 2) ①アカデミー運動における事業活動は、研修・セミナーは「はなしあい」を基本として積極的に集合形式を計画するとともに、リモート形式についても運営方法の充実をはかる。
②関西セミナーハウスの事業は、現在の社会状況を踏まえつつ、事業展開の可能性を模索し、新たな運営に取り組む。
- 3) 東・西施設の適切な運営管理を行い、法人運営の健全化を進める。

2. 事業の推進

1) 公益目的事業

(1) 東・西活動センター

- ① 「はなしあい」を基本とした現行のフォーラム事業及び研修・セミナー・体験交流事業を継続、発展させる。
- ② 各活動センターのプログラムは、それぞれにおける収支バランスをとることを原則とし、且つ事業費、寄付金収入も含めて、各活動センターとしての収支バランスの取れた運営を目指す。
- ③ 講師ならびに参加者同士の対話を中心に進めつつ、オンライン会議においてもより充実した運営方法に取り組む。
- ④ アカデミー運動の目的に従って今日的な社会の課題に対する認識を深め、それにふさわしい新規プログラムの開発と効果的な広報に取り組む。
- ⑤ 得られた成果については機関紙ならびにデジタルツールなどによって広

く社会に発信し、啓発活動を活発化する。

(2) 関西セミナーハウス

アカデミー活動の安定的継続を支援するため、宿泊施設・会場を諸団体、教育機関・学会・研究会活動等の広い利用に供する方策を検討し実施する。

2) 収益事業

(1) 関西セミナーハウス

- ① 関西セミナーハウスの安定した運営に取り組む。
- ② 一般利用者、企業等に対して施設の利用を促進し、その収益の一部を公益活動に資する方策を組み込む。

(2) 日本キリスト教会館

当財団所有の事務所用物件の一部を貸与し、その収益を当該施設の補修、維持、向上等及び公益活動への貢献に資する。

なお、借主及び管理組合との交渉に関しては、財団本部が責任をもって行う。

3) 広報活動

フォーラム事業、研修・セミナー・体験交流事業等の内容並びに各年度事業計画・予算及び事業報告・決算を機関紙「はなしあい」において定期的に報告するとともに、より効果的な広報を検討し取り組む。

具体的には広報先やツールなどについて、効果的に且つ効率的に行う方策を検討し実施する。このことによって本法人の使命や活動をより広く知らせ、理解者、賛同者ならびに事業や活動の参加者、利用者の増加につなげる。

東・西活動センターおよび関西セミナーハウスの活動状況については、ホームページやSNS等によって積極的な情報発信を継続する。

3. 運営推進体制の安定化

公益目的事業の運営推進に当たって、継続的な事業に関しては明確な方向性と予算計画を持ち、プログラム毎の収支の整合化を原則とする。新規プログラムについても、必要財源を確保し、活動の安定的展開を目指す。

4. 賛助会員、寄附金の拡充

公益目的事業、広報活動等を積極的に展開して、アカデミーの理念の理解、浸透につとめ、アカデミー運動を支えようとする賛助会員及び寄附金の仕組

みや広報について見直し、拡充に取り組む。

5. 本法人の使命に基づき健全に運営を継続するため、各事業を推進する人財を育成し確保するとともに、役員・委員との連携を強化する。

II 関東活動センター2025年度事業計画

2025年度の関東活動センターは、日本クリスチャン・アカデミーの理念に基づき、以下のような諸プログラムを計画している。

1. 関東活動センターは事務局体制が新しくなって2年目となるため、これまでの連続講座に加えて特別講座等を開催し、関東活動センターの活動に関わる人を増やしていきたい。
2. 感染症のパンデミックを経て培ったノウハウを用いて、対面とオンラインを併用して講座やプログラムを開催していく。
3. 各プログラムの開催は、これまでも共に活動してきた早稲田奉仕園や柏木義円研究会等と協力しながら開催していく。
4. 「聖書を読む講座Ⅰ」として、「LGBTQ+と聖書」というテーマで、藤本満講師の連続講座を実施する。このプログラムは、『LGBTQ 聖書はそう言っているのか?』（イクスエブックス）をもとに、基本的に全面オンラインで実施する。
5. 「宗教対話Ⅰ」として、昨年度に引き続き、柴崎聰講師による少人数の読書会「キリスト教と文学」を実施する。このプログラムは対面で実施する。
6. 「宗教対話Ⅱ」として、これまでに引き続き柏木義円研究会との共催で、柏木義円の現代的意義を問う公開講演会を実施する。
7. 「宗教対話Ⅲ」として、「福嶋揚と共にハンス・キュンクを読む」というテーマで、福嶋 揚講師の連続講座を実施する。このプログラムは、ハンス・キュンク著『イエス』（ヘウレーカ社）を、講師の手引きにより各回1章ずつ発表者を決めて議論するゼミ形式で実施する。このプログラムは対面とオンラインを併用して実施する。
8. 「ワークショップ」として、昨年度に引き続き、「さらに豊かな礼拝のために ことばを届けるトレーニング」というテーマで、友野富美子講師によるワークショップを月に一度のペースで開催する。礼拝の司式や聖書朗読、詩編交読、説教などの発声・発語の訓練を行う。このプログラムは対面で実施する。
9. 各神学校の枠を超えた神学生たちの交流を目的とした「神学生交流プログラム」については、2025年度も各神学校の賛助を得て、第15回プログラムを実施

する。会場等が未定であるが、可能であれば対面とオンラインを併用して実施したいと考えている。

フォーラム事業			
関東フォーラム 聖書を読む講座Ⅰ	10 回	連続講座「LGBTQ+と聖書」 みんなで考えてみよう！ 講師・藤本 満 オンライン	第1回4月15日（火） 第2回5月13日（火） 第3回6月10日（火） 第4回7月8日（火） 第5回9月9日（火） 第6回10月14日（火） 第7回11月11日（火） 第8回1月13日（火） 第9回2月10日（火） 第10回3月10日（火）
関東フォーラム 宗教対話Ⅰ	10 回	読書会「キリスト教と文学」 講師・柴崎聰（詩人、日本聖書神学校講師） 対面（NCA 事務所） デュ・モーリア『レベッカ』、芥川龍之介『トロッコ』『おぎん』『白』、アルベール・カミュ『異邦人』、三浦綾子『氷点』（上）、グレアム・グリーン『権力と栄光』、尹東柱の詩、チャールズ・ディケンズ『クリスマス・キャロル』、遠藤周作『わたしが・棄てた・女』、スウィフト『ガリヴァー旅行記』、まどみちおと阪田寛夫の詩	第1回4月15日（火） 第2回5月20日（火） 第3回6月17日（火） 第4回7月15日（火） 第5回9月16日（火） 第6回10月21日（火） 第7回11月18日（火） 第8回1月20日（火） 第9回2月17日（火） 第10回3月17日（火）
関東フォーラム 宗教対話Ⅱ	1 回	柏木義円公開講演会 講師・未定	11月29日（土）

		オンライン	
関東フォーラム 宗教対話Ⅲ	8回	福島揚と共にハンス・キュンクを読む 講師・福島 揚 対面 (NCA 事務所)・オンライン	第1回5月23日(金) 第2回6月27日(金) 第3回7月25日(金) 第4回9月26日(金) 第5回10月24日(金) 第6回11月28日(金) 第7回1月23日(金) 第8回2月27日(金)
ワークショップ	10回	さらに豊かな礼拝のために ことばを届けるトレーニング 講師・友野富美子 対面 (東中野教会)	第1回5月16日(金) 第2回6月20日(金) 第3回7月18日(金) 第4回9月19日(金) 第5回10月17日(金) 第6回11月21日(金) 第7回12月19日(金) 第8回1月16日(金) 第9回2月20日(金) 第10回3月20日(金)
神学生交流プログラム	1回	第15回神学生交流プログラム 校長・神田健次(関西学院大学 名誉教授) 講師・未定 開催場所・関西セミナーハウス・オンライン	2026年3月に2泊3日で開催予定

Ⅲ 関西セミナーハウス活動センター2025年度事業計画

今日の世界では、少数の超大国が、その強大な軍事力と経済力を背景に、自己の権益を拡張しようとし、超大国の独裁的指導者の一言が、世界の人々の平和を乱す結果を招いています。クリスチャン・アカデミーの運動は、第2次世界戦中、弱い立場の人達の命を守る責任を果たし得なかった教会の反省から始まった運動で、はなしあいを通して、

対立を超えて、繋がり合い、正義、平和、いのちが尊ばれる社会の実現を目指す運動です。

関西セミナーハウス活動センターは、改めてその意義を自覚し、2025年度には、別表に示す課題について、問題の本質を見抜き、根源的問題提起のできる専門家を招き、はなしあいを深め、混迷を克服する道を探ります。

これらの集会では、関西セミナーハウスにおいて、講師と参加者が直接出合い、時間をかけて語り合い、考えを深め合うと共に、オンラインにより遠隔の人もはなしあいに参加できるようにします。

はなしあい集会の発題は、講師の同意を得て録画し、YouTube ライブラリーとし、後日ホームページから申し込むことにより、視聴出来るようにします。

これら集会の成果は、適宜機関紙「はなしあい」誌上で報告すると共に、テーマによっては、発題講演の記録をまとめて書籍として出版します。今年度には、昨年度開催した戦争と平和に関する集会を中心に、『戦争の時代』にしないために～非暴力・平和主義を求めて～と題する書籍を出版する予定です。

さらに、ドイツアカデミーとの間で、共通の課題について、共同開催の集会の可能性も探ります。

これら活動は、ホームページ上で効果的に宣伝し、支持者を広げ、賛助会費や寄付金で支援されるよう努めます。

フォーラム事業			
修学院フォーラム 社会	第1回	韓国における戒厳令の歴史と日本帝国、 そしてキリスト教 講師 洪 伊杓 (ホン イピョ) (名古屋学 院大学非常勤講師)	5月24日 (土)
	第2回	なぜ原発を止められないのか？ 講師 青木美希 (ジャーナリスト、作家)	9月14日 (日) ～ 15日 (月、祝)
	第3回	沖縄基地問題 講師 金井 創 (日本基督教団佐敷教会 牧師)	2026年2月14 日 (土)
	第4回	人口減少	開催日未定

		講師 交渉中	
修学院フォーラム 福祉	第1回	環境と諸宗教 講師 鎌田東二、梶田真章	6月28日(土) ～29日(日)
	第2回	釜ヶ崎をとおしてみえる私たちの社会 講師 大谷隆夫(摂津富田教会牧師、関西労働者伝道委員会委員長)	7月12日(土)
	第3回	東九条に生きる(仮) 講師 朴 実(音楽家) 交渉中	開催日未定
	第4回	ジェンダー 共催 京都YWCA 講師 交渉中	2026年3月
修学院フォーラム いのち	第1回	なぜアメリカのキリスト教はイスラエルを支持するのか? 講師 大宮有博(関西学院大学法学部教授)	4月19日(土)
	第2回	ロシア正教会とウクライナ正教会 講師 久松英二(龍谷大学国際学部教授)	6月14日(土)
	第3回	旧約聖書と現代 講師 月本昭男(立教大学・上智大学名誉教授)	11月2日(日) ～ 3日(月、祝)
研修・セミナー・体験交流事業			
開発教育セミナー	第1回	開発教育入門セミナー 共催 京都市国際交流協会 講師 開発教育研究会	6月22日(土)
	第2回	パレスチナ地域研究から歴史を学び直す(仮) 講師 金城美幸(立命館大学・中京大学・愛知学院大学非常勤講師)	9月13日(土) ～14日(日)
	第3回	平和ワークショップ国際平和を探究するカリキュラムからー(仮) 講師: 野島大輔(立命館大学 国際地域	10月4日(土) ～ 5日(日)

		研究所)	
	第4回	小農経済が変える食と農（仮） 講師：山本奈美（京都大学農学部）	11月1日（土） ～2日（日）
	第5回	日韓国交正常化から60年、今考えるべきこと（仮） 講師：太田修（同志社大学グローバル・スタディーズ研究科）	12月20日（土）～21日（日）

IV 関西セミナーハウス2025年度事業計画

2025年度の関西セミナーハウス事業計画は、以下の通りとする。

1. 運営方針

- 1) コロナによる臨時休館解除4年目となる本年度は従来の運営方法にとらわれず、利用者の利便性を高め、施設の魅力を再発信するなど今後の社会変化に対応した事業展開を行う。
- 2) 宿泊者および会議室利用の増加を図ることにより、収益事業として財団経営の安定化につなげる。
- 3) 関西セミナーハウス施設維持管理を目的とした寄附金の募集を継続する。
- 4) 関西セミナーハウスの運営に関する諸課題については経営委員会で検討し、運営する。

2. 予算編成上の留意点

- 1) 会計単位別の収支予算書に加え、関西セミナーハウスについては損益計算書を作成する。
- 2) 職員の人件費について、本部と関西セミナーハウスの従事割合により配分する。従事割合は2024年度と同等とする。

V 本部2025年度事業計画

1 安定した本部事務局運営

各部門間と本部事務局の連携を強化し、東・西活動センターの事務局運営支援をすすめる。

2 アカデミー運動の使命の確認

- ① 使命である「はなしあい」について研修会や機関誌を通じて、発信する。
- ② 賛同者・関連団体との連携に努め、アカデミー運動の認知度・理解者の拡充に努める。

3 広報活動の計画的な運営

機関紙「はなしあい」を定期的に発刊し、デジタルによる発信を検討する。

4 日本キリスト教会館の管理と財政の安定

オーナー会と協力し会館の維持管理に努め、テナント利用団体の施設利用に協力する。この果実によって財政の安定化に努める。

5 支える人財の拡充と法人運営の強化

新たな人財の確保と、運営体制を強化する。

(以上)